

3年前にR Iが全地区534位の地区に退会の原因についてアンケートを出しました。
 これはR Iの大きな事業でございますが、そうして459地区からアンケートの集計ができました。それによりますと、・・・にクラブの指導性の弱さ ・・・にクラブの在り方に指導性がない ・・・にクラブのプログラムに充実感がないという大きくこの三つの理由でした。具体的に申し上げますと

- | | |
|---------------|------------------|
| 新入会員に対する思いや欠如 | 歓迎会の開催の必要性 |
| 会員に暖かい声を掛ける | 新会員の居場所と満足感をあたえる |
| 厳粛で感動的な入会式を行う | |

このような理由のようであります。ロータリーではクラブの例会・クラブフォーラム・炉辺会談・各委員会のミーティングなど数多くあります。相手の立場を尊重し基本に返り腹蔵のない意見交換をし、一つの目標に向かってまいしんしていきましょう。そして決まった事には力を結集して行くことが、ロータリーであり、ロータリーの理念は「愛」であります。

次にクラブ研修委員会でございますが、今年度からクラブ奉仕委員会に配属されましたので、どのような委員会活動をするかいろいろと検討をしました。前年度は、職業奉仕の中に入り難い情報研究会を行ってまいりましたが今年度は浜名委員長が計画し12月10日にクラブ研修委員会セミナーを開催します。内容は、基調講演に「ロータリーの友」編集長二神さんをお招きして雑誌で知るロータリーという演題で話をして頂きます。又、テーブルミーティングとしてロータリーを知る楽しみとして参加者に語り合ってもらく方式で検討しています。内容についてはロータリーの研修方法について、日本でも、ロータリー・リーダーシップ・インステュートというのが広がりつつありまして、この研修方法について皆様に呼びかけるようなディスカッションです。

次にR Iの長期計画「ビジョン」について少々お話をしたいと思います。
 国際ロータリーは皆様の声とともに、全世界14,000人以上のロータリアンを対象にアンケート調査を行い、R I長期計画がロータリークラブのニーズを満たし、クラブの価値観を反映したものとなるように見直しを行ないました。クラブの活動やプロジェクトを通じて、様々な推進活動を行う中で、長期計画を支援し、ロータリーが人々から選ばれる奉仕組織となるよう皆様のご協力が必要であります。そこで長期計画とは何かでございますが、今後のロータリーが強さや活気を維持して行くためのアプローチです。それは3つの優先項目として **クラブのサポートの強化** **人道的奉仕** **に公共イメージと認知度の向上**に分けられています。又、ロータリーの中核となる5つの価値観・**奉仕-親睦-多様性-高潔性-価値観-リーダーシップ**・・・これらがR Iの長期計画です。私達は世界中の地域社会に於ける人々の生活に貢献する為、活発で行動力のあるクラブから人が選ばれる奉仕組織である「以上R Iの資料より」まだいろいろと説明したいのですが、時間がないのでこのへんにしておきます。終わりにロータリーの究極の目的は「世界の平和」であり、それは全てのロータリアンの共通の願いであります。その目的の達成は困難を極めますが、全世界の会員が一致し行動するからこそ今日までロータリーが評価されているのであります。此の事を我々は誇りにしましょう。

 **委員会活動報告**

社会奉仕委員会

委員長：小澤盛明



7月26日(火) 午前7時よりロータリー農園にて、いも苗の「つる返し」を会員10名の方と作業しました。



ロータリーの実践倫理
 「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌
 ・広報委員会》

委員長：伊師 剛迪 副委員長：大川 隆永
 委員：平田 洋一 委員：高崎 卓哉

社会奉仕基金
 3,094円

WEEKLY REP  RT

国際ロータリー第2790地区第12分区
 松戸北ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
 - 2・みんなに公平か
 - 3・好意と友情を深めるか
 - 4・みんなのためになるかどうか

第1879回 例会 (第4週) 2011年 7月26日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー
 第2790地区ガバナー 山田修平
 第12分区ガバナー補佐 安井克一
 松戸北ロータリークラブ会長 鈴木悦朗
 松戸北ロータリークラブ幹事 兎山守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
 例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ボウル1F
 事務所 - 松戸市根木内249-7 株山安内
 TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696
 Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけよう

会長 鈴木 悦朗

本日、早朝にロータリー農園で苗のつるよせを行いました。小澤盛明社会奉仕委員長をはじめ、10名の会員の皆様にご協力いただきありがとうございます。

7月19日(月)の例会の日の夕方より会員増強委員会、7月23日(土)にポートプラザ千葉において地区クラブ奉仕セミナーがあり7月25日(月)にニコニコ委員会が開催され何かと忙しい一週間でしたが、親睦と奉仕はロータリーの両輪であり、ロータリアン同士の深い信頼を育む委員会活動が活発になるのは望ましいことです。

第1例会、第2例会でお話したように「奉仕の理想を求めて夢を追いかけよう」というのが今年のクラブの方針です。

「奉仕の理想」とは「人のことを思いやり、人のためにつくすこと。」例会はロータリーの奉仕の哲学を学ぶ道場でもあります。入りて学び、出でて奉仕せよ「Enter to learn, Go forth to serve」。

本日は石井七郎地区クラブ奉仕委員長に卓話をお願いしました。石井クラブ奉仕委員長は10数年、地区委員としてご活躍され、白鳥ガバナー年度には、地区幹事長をお勤めになりました。奉仕部門の中で幹となるのがクラブ奉仕です。今日は、得居 仁ガバナーエレクトもご来臨いただきました。クラブ奉仕について会員の皆様とともに本日の例会で学んでいきたいと思ひます。

幹事報告：兎山守治

1. 柏東ロータリークラブ 8月11日(木) 定款第6条第1節により休会
沼南ロータリークラブ 柏東ロータリークラブ に名称変更
2. 松戸ロータリークラブ 8月17日(水) 定款第6条第1節により休会
3. 柏東ロータリークラブ } より活動計画書が届いています
松戸東ロータリークラブ }
松戸ロータリークラブ }
4. 東日本震災復興基金は日本委員会によって基金管理される事となりました
5. 2011年8月のロータリーレートは **1ドル 80円** となっています

ニコニコBOX

ガバナーエレクト得居 仁様(松戸東ロータリークラブ所属)

本日はありがとうございます。

鈴木悦朗会長 石井七郎様 遠方のところお出かけ頂きありがとうございました。

得居仁ガバナーエレクト様 ご挨拶ありがとうございました。今度卓話を楽しみにしています。また 会員の皆様には いものつる寄せ ありがとうございます。

齋藤和實会員 誕生日のお祝い有難うございます。22日で71才になりました。一日一日を大切にしたいと思ひます。

小林 弘会員 都合により仮欠席になります。申し訳ありません。

高橋 清会員 先週は前年度のニコニコ表彰ありがとうございました。

今日は社会奉仕事業の一つ ロータリー農園のツル返し作業 お手伝いの皆様にお礼とお詫びを申し上げます。つい失念いたしてしまいました。年令の理由にはしたくありませんが これからは気をつけたいと思ひます。

本日のお客様 得居 仁様 (松戸東 RC 所属) 高橋竜一様 (松戸東 RC 所属)

予告 8月 9日(火)「卓話」 中村力三会員 「終戦の日を前に」
8月23日(火)「卓話」 2004-05年度ガバナー 杉木禧夫様

卓話

地区クラブ奉仕委員長 石井七郎様 (千葉北RC所属)



さて、私は今年度クラブ奉仕委員長を仰せつかりました千葉北RCの石井でございます。先般行われましたクラブ奉仕委員会セミナーには会長はじめたくさんの方が参加されて誠にありがとうございます。今日はクラブ奉仕委員会による会員増強とクラブ研修委員の今後の活動やRIの長期計画などの話をしたいと思ひます。クラブ奉仕と言う言葉は前からあった訳ではなく、ご承知のようにロータリアンの社交クラブとして親睦からロータリーの奉仕の心を育て例会場へ行き異業種の会員の刺激を受けながら自分を改善して行く契機と、他のロータリアンと世俗の事を忘れて、親睦の中から互いに研鑽しあい世の中に倫理を提唱していくべき使命を持った活動こそロータリークラブであります。

クラブ奉仕の中にいるいろいろな委員会

その行動を実践の側から見てクラブ奉仕と呼んでいたものであります。よってクラブ奉仕の前身はロータリーの親睦と呼んでいました。その後クラブ奉仕の中にいろいろな委員会が出来ました。出席委員会・会員増強委員会・広報委員会・R情報委員会・分類委員会・など約12委員会がそれぞれの役目をもって設置されたのですがCLPによって委員会が簡略化され今、どれだけの委員会が機能しているのでしょうか？

クラブを円滑にそして、効果的に機能させるには幅広い委員会同志の意見交換が必要とされています。

今年度の地区クラブ奉仕委員会は、会員増強・広報・IT・クラブ研修の3委員会が担当であります。山田ガバナーはクラブ奉仕の重点目標として会員増強10%・会員研修の充実・クラブ例会の充実のこの3項目を掲げてきました。

「五大奉仕の中でクラブ奉仕だけが」

クラブ奉仕と言うのは、五大奉仕の中でクラブ奉仕だけが自分たち身内を内向きに強く人格を磨きそして、団結心を作り、奉仕の意義をみんなで理解し合う内向きな仲間同士の奉仕であります。あとの4つは外に向かって理念を世の中の人々に奉仕するものであります。分かりやすく申しますと。ロータリーの樹を見てみましょう。小委員会のほとんどがクラブ奉仕の根っことして位置し、職業奉仕・国際奉仕・社会奉仕・新世代奉仕に花を咲かせるのであります。ですから、5大奉仕の内クラブ奉仕は重要な位置を占めるのであります。中でも会員増強は、ロータリークラブの発展の礎であり、会員維持と共に常にクラブはひた向きの努力が必要とされています。RIでは年度が変わる度に会長が判で押したように会員増強を重点目標にしています。先程も申し上げましたが、山田ガバナーは10%の増強を掲げていますが、どのようにして達成させるか？10%といいますが地区で270名の増強となります。委員会では増強は無論のこと会員維持におもむきを置くべきであると申しております。会員増強はどのクラブでもこれ以上、増強と言う事が出来ないほど、努力はしているかと存じます。あとは会員の維持をどうするかと言う事に尽きるかと思ひます。下の表は2790地区の10年間の会員減少の推移であります。

会員数	3725	3492	3312	3171	3082	2998	2937	2912	2773	2709
年度	01~02	02~03	03~04	04~05	05~06	06~07	07~08	08~09	09~10	10~11

1年間に100名以上の退会者があり 会員が減少しています。地区のクラブ数が増えても会員数はマイナスの一途をたどりロータリーの存亡の危機に直面して来ます。今、地区のクラブ数は84クラブですが平均会員数は32名でございます。各クラブの皆さんにお願いします。増強委員会の中に会員維持の担当者をおいたらどうでしょうか？そして会員維持に焦点を当てていただきたいと思ひます。

今迄、私達は退会の理由としてロータリアンの高齢化に伴い不透明な経済環境・そしていくつかの社会構造のせいにしてきましたが、果たしてそうでしょうか？今まで増強、増強と走り回り会員維持の観点から量から質への転換を怠っていないだろうか？入会数より退会者数が多いのは異常であります。

他地区と比べてどうでしょうか？第一ゾーン14地区の中で退会者数はワーストワンです。前年度はAGに協力して頂き、お陰さまで今までにない209名の新入会員が誕生したのですが、あの思わぬ災害のせいでしょうか約270名近い退会者が出て、最終的にマイナス前年対比マイナス64名となりました。ただ唖然とするだけでした。このままですと増強のペースと会員維持を比較しますと、今世紀が終わる前にロータリーの太陽は沈んでしまうのではと思ひます。この問題を克服するために各クラブでは、退会者が出ないような入会基準の確立など早急に検討して頂きたいと思ひます。

(次ページにつづく)



ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。